

2018年度(平成30年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(30)番 福山市立新市中央中学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)	よりよく考える力	チャレンジする力	つながる力
めざす子ども像 (21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた生徒の姿)	<ul style="list-style-type: none"> 習得した知識やスキルを活用し、情報を比較、分類、関連づけて考え、互いの考えを検討し合い、深めたり広げたりして、判断や意思決定をしている。 自分の考えを、学習した用語や図、表、グラフを用いて、相手に分かりやすく伝え、納得させようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の目標と目標達成に向けた計画を立て、取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 互いのよさや違いを認め合い、自ら積極的に他者とかがわり、協働して課題の解決策を創造しようとしている。

2 授業の現状

・「意欲・関心や疑問の持てる学習課題を設定し、意欲的に取り組ませ、それを振り返らせている」(課題95%、取組95%、振り返り90%)、「よりよく考えさせるために、資料を活用する授業や、問いに対する自分の考えや他者の考えを書かせる授業を仕組んでいる」(資料55%、書く75%)、「わかりやすく伝えられるようにするために、ペアやグループで話し合う場面を設けている」80%、「カリキュラム・マップを見直しながら、それに基づき、協働して課題解決させる活動を仕組んでいる」80%

転換

3 めざす授業の姿

・意欲・関心や疑問を持たせるような導入の工夫を行い、「どの考え方が使えるか」、「他のやり方は」、「分かりやすい伝え方は」と意欲的・主体的に考えさせる授業(よりよく考える力)
 ・毎時間の目標を意識させ、その達成に向けて意欲的・主体的に取り組ませ、まとめで自分の言葉で表現させて、目標が達成できたかを振り返らせる授業(チャレンジする力)
 ・他者と意欲的・主体的にかがわり、協働して課題解決させる授業(つながる力)

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
①よりよく考えさせるために、資料を活用する授業や、問いに対する自分の考えや他者の考えを言い合ったり、書かせたりする授業を仕組む。 ②主体的な学びにしていこうために、個のつぶやきや、ペアやグループでの対話をよく聴き、それらを活かした展開を仕組む。	①「資料を活用する授業を行う」授業者35%、「考えを言い合ったり、書かせたりする授業を仕組む」授業者50% 「自分の考えを積極的に伝えていく」生徒67%、「わかりやすく伝わるよう発表を工夫している」生徒66% ②「個のつぶやきや、グループでの対話をよく聴き、それらを活かした展開を仕組む」授業者50% 「友だちと話し合うなどして自分の考えを広げている」生徒81%	①よりよく考えさせるために、資料を活用する授業や、問いに対する自分の考えや他者の考えを言い合ったり、書かせたりする授業を仕組む。継続 ②主体的な学びにしていこうために、個のつぶやきや、ペアやグループでの対話をよく聴き、それらを活かした展開を仕組む。継続	①「資料を活用する授業を行う」授業者71%、「考えを言い合ったり、書かせたりする授業を仕組む」授業者95% ②「個のつぶやきを反映させる授業に取り組んでいる」授業者86%	①よりよく考えさせるために、資料を活用する授業や、自分の考えや他者の考えを交流した後に再度自分の考えを書かせる授業を仕組む。 ②主体的・対話的な学びにしていこうために、生徒の声を一層上手に拾ったり、生徒が行き詰まった時に生徒同士を一層つないだりする授業を仕組む。	①「よりよく考えさせるために、資料を活用する授業や、自分の考えや他者の考えを交流した後、再度自分の考えを書かせる授業を仕組む」授業者76% ②「主体的・対話的な学びにしていこうために、生徒の声を一層上手に拾ったり、生徒が行き詰まった時に生徒同士を一層つないだりする授業を仕組む」授業者88%

5 取組の結果等

数値は2018年(H30年)調査等の状況

	A問題	B問題
国語	74.0(-2.0)	59.0(-2.0)
数学	62.0(-4.0)	40.0(-6.0)
理科	61.0(-5.0)	

()は県平均との差

	タイプⅠ	タイプⅡ
国語	72.1(1.7)	56.7(-7.3)
数学	70.8(1.1)	54.2(-3.2)
理科	57.0(2.5)	41.8(-3.5)
英語	73.7(-1.0)	65.7(5.8)

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 22/24	男子22/24、女子24/24であった。	体育の授業を通して、運動のポイントを見つける喜びを感じる事で運動に対する興味・関心を高める。	授業の目標を時間ごとに設定し、楽しく動ける授業、考える授業をつくる。毎回の授業の中で、課題となる補強を行う。
(女子) 24/24			
目標値	男女とも全種目、県平均値以上。		

「基礎・基本」定着状況調査(生徒質問紙調査)(%)

内容	国語		数学		理科		英語	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	41.3	43.0	60.3	26.4	46.3	36.4	35.5	33.9
学校が楽しい	87.6							

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	よく	当てはまる
仕事にやりがいを感じている	5.3	63.2
仕事に充実感がある	0.0	47.4

児童生徒アンケート(%)

質問項目	(12)月実施	
	当てはまる	少し
授業で考えることが面白い	57.6	46.6
自分の考えは、認められている	37.0	49.2

暴力行為発生率・不登校生徒出現率(%)

(2)月末現在

暴力行為	0.0%	不登校(30日以上)	2.1%(5.5%)
------	------	------------	------------